

健康しがへの挑戦
～変わる滋賀 続く幸せ～



滋賀+1

プラスワン

県広報誌

Vol.196
令和4年(2022年)

3・4月号



特集

特集1 本当の意味での「健康しが」へ…………… P2-7

特集2 みどりを育ててやまにつなごう!…………… P8-9

ふれあいプラスワン

アイヌの人々や文化への理解を深めよう
～知っていますか、滋賀とアイヌの歴史的関係～…………… P10-11

いくつになっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために
～様々な人が支え合う「お互いさま」の地域づくり～…………… P12-13

ミニ特集 狙われる!? 18歳・19歳 (成年年齢が18歳に)…………… P15

【滋賀県の人口と世帯数】(推計値) 令和4年1月1日現在(前月からの増減)

- 人口総数/1,408,669人(△418)
- 外国人人口/28,664人(△161)
- 男性/696,085人(△242)
- 女性/712,584人(△176)
- 世帯数/579,506世帯(△354)



滋賀県は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

本当の意味での「健康しが」へ

基本構想で掲げる「未来へと幸せが続く滋賀」の実現を目指し、「人」「社会」「自然」すべての面で充足した、本当の意味での「健康しが」をつくります。そのために、「人の健康」については「こころの健康」と「子ども・次世代」に、「社会の健康」については、「活力ある滋賀づくり」に、「自然の健康」については、「グリーン社会への挑戦」に、それぞれ取り組んでいます。

キーワード こころの健康

コロナ禍によって人や社会とのつながりが持ちにくくなっているなかで、うつや自殺などの問題が深刻化しています。すべての県民が自分らしく「こころも体も健やかな」生活が送れるように、医療・保健システムの強化やメンタルヘルスの取り組みに加えて、「つながり」「ワクワク・誇り」「安らぎ」を通じて、「こころの健康」を高めることにより、幸せ(well-being)を実感できる滋賀を目指します。

文化に親しむ /

「幻の安土城」復元プロジェクトなどに取り組み、文化力を高めることで、より多くの人々が文化にふれ、楽しむ機会を創出します。



楽しみじゃ



～「幻の安土城」復元プロジェクト～

公園の賑わい /

令和4年度から、利用者の利便性の向上を目的に、飲食店・売店や子どもの遊び場などを設置、運営、管理するPark-PFIを、「びわこ文化公園」および「びわこ地球市民の森」に導入します。



自然とのふれあい /

森林浴や木の香りには癒し効果があるとされ、森林空間の活用が注目されています。滋賀でも森林セラピーやウォーキングなど一部の地域で取り組みが始まっています。



高島市 クアアholt健康ウォーキング

動物との豊かなかかわり /

人と人とのつながりが制限されるなか、人と動物の適切な関わり、動物とのふれあいにより、癒しや生きがいにつなげることが求められています。



犬猫との関わりを学ぶ飼い方講習会や、譲渡事業などを行っています。

ウェルビーイング(幸せ)



生活でお困りの方は

- 「新型コロナウイルス感染症対策にかかる各種支援策のワンストップ相談窓口」
TEL. **077-525-5670** (土日祝を除く9:00～17:00)
- ※以下の日については、土日祝も開設しています。
3/5(土)、3/6(日)、3/12(土)、3/13(日)、3/19(土)、3/20(日)、3/21(月・祝)、3/26(土)、3/27(日)



こころの健康

メンタルヘルスのケア

医療・保健システムの強化

眠れない、生きていくのがつらい、しんどいという方は

- 「こころのサポートしが」
LINE相談 (毎日16:00～21:00 <令和4年3月31日まで>)
- 「自殺予防電話相談」
TEL. **077-566-4326** (毎日9:00～21:00)
- 「滋賀いのちの電話」
TEL. **077-553-7387** (金～日10:00～22:00)



友だち登録を待っています！

キーワード 子ども・次世代



1人1台端末で、学びが変わる

これまでの一斉学習でのICTの活用だけでなく、子どもたちそれぞれが、「文房具」の一つのように、1人1台のパソコン端末などを効果的に活用しながら学びを深めます。例えば、様々な情報を集めて読み取ったり、分かったことや考えたことをもとに話し合ったりする場面でICTを活用し、学習活動の一層の充実を目指します。

これまでの学習



個別学習



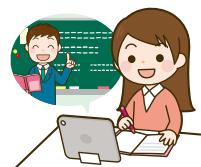
自分のペースで学べる、知りたいことがどんどん学べる。

協働学習



一緒に考えを深められる、協力して作成・編集などができる。

遠隔学習



離れていてもつながれる。

こんなことができるようになります！

高島市立本庄小学校の 実践例（5年生・理科）

流れる水のはたらきと 土地の変化

水量を増やしたり斜面の傾きを大きくしたりすると、流れる水のはたらきはどのように変化するのか？

結果を明確にするためのICT活用

この実験は、状況が刻一刻と変化するうえ、繰り返し行うことができないため、実験の様子を動画で撮影することで、実験結果を明確にしました。



実験動画を繰り返し確認しながらの考察

撮影した実験動画を繰り返し確認したり、前回の実験動画と比較したりしながら考察しました。



お問合せ 県庁幼小中教育課 TEL 077-528-4662 FAX 077-528-4953 e ma10@pref.shiga.lg.jp

すまいる・あくしょんが広がっています！

「すまいる・あくしょん」とは、滋賀県の小・中学生、高校生、大学生など31,320人の子どもたちの声をもとに作成した、子どもの笑顔を増やすための滋賀発の新しい行動様式です。その取り組みが県内に広がってきています。

みんなのすまいる・あくしょん



一般社団法人近江日野交流ネットワーク

地域の魅力を伝え、地域を元気に！

一般社団法人近江日野交流ネットワークでは、地域の子もたちに、ふるさとの魅力を伝え、保護者とのふれあいや地域の方々との交流の場を提供し、地域が元気になる活動を進めています！

安心できるクリニックをつくっています

「子どもに何かあってもあさいこどもクリニックに行けば安心」と思っただけの存在を目指しています。子どもたちが怖がらない院内の雰囲気づくりやママたちが気軽に相談に来れるような今までになかった小児科クリニックの形を目指して取り組んでいます。



あさいこどもクリニック

子どもたちの笑顔は、
未来のチカラ

01 正しい情報を
選んで伝える

02 子どもの声を
聞いて
一緒に考える

03 心と身体の
健康を支え
思いやりを
育む

04 人とのつながりや
喜びを
感じられる
居場所をつくる

05 のびのびと
遊び育つための
環境を守る

06 文化・芸術・
自然・社会に
触れる体験を
増やす

07 オンラインを
活かすための
環境を整備する

子どもの笑顔を守るのは、
大人のチカラ

今、子どもたちの笑顔を守るために様々な企業や団体のチカラが必要です。一緒に取り組みを広げましょう。

お問合せ 県庁子ども・青少年局 TEL 077-528-3561 FAX 077-528-4854 e em00@pref.shiga.lg.jp

ある滋賀



あなたもわたしも「シガリズム」

(先人の教え)

しがのリズム

ゆっくり、
ていねいな暮らし

自然と人との
ちょうどいいリズム

と

しがのイズム

利他のところ

三方よし

おかげさま
おたがいさま

誠信の交わり

びわ湖を真ん中に、自然の四季を味わい、
みんな仲良く支えあって生きるシガリズム

人間だけでなくすべての生き物を
慈しむシガリズム

今を生きる世代だけでなく、
未来の世代のことも考えるシガリズム

滋賀のリズムにふれて、心のリズムをととのえてみませんか？

コロナ禍によって、健康志向や自然志向が高まり、観光においても改めて本県の良さが注目されています。滋賀の自然に触れ、滋賀に暮らす人々と出会い、交流することで、ゆっくりていねいに暮らしてきた滋賀の時間の流れや暮らし、歴史、伝統など、「シガリズム」をより深く体験・体感していただく、新たな観光振興に取り組みます。



地域で伝承されてきた
文化を体験する。

暮らしの
シガリズム



琵琶湖を一周しながら
自分だけの景色を見つける。

アクティブな
シガリズム



湖と山の恵みをいただき、
五感でふれる。

感じる
シガリズム



静かな境内で、
ゆっくり心のリズムを整える。

歴史文化の
シガリズム

シガリズムを体感
できるスペシャル
ムービー公開中！



シガリズム暮らし旅編



シガリズム遊び旅編

滋賀の「今」の魅力、
ウェブサイトやSNS
で配信中！



お問合せ 県庁観光振興局

TEL 077-528-3741

FAX 077-528-4877

e ff00@pref.shiga.lg.jp

滋賀ぐらし ほとほと田舎 ほとほと都会



気づくことで、豊かになる

滋賀には“豊かさ”の源泉がたくさんあります。身近にある豊かな自然と、男女合わせた有業率全国4位や、人口10万人あたりのスーパー数が全国2位といった生活に便利な環境。今まで気づかなかった滋賀ぐらしの豊かさを探してみませんか。



滋賀ぐらし、“めっちゃ”あり！

移住希望者を対象に、滋賀ぐらしを体感できる様々なイベントを開催し、滋賀の魅力を広く発信しています。

滋賀ぐらし魅力体験発信事業



地域の方と交流会！ 滋賀での暮らしの本音や、オススメポイントを詳しく伺います。



観光では歩かない路地や、ガイドブックでは味わえない体験や空き家見学も。

移住相談会



仕事、住まい、地域情報や支援制度など移住に必要な情報の提供やご相談への対応をしています。

移住者交流会



滋賀に移り住んだ方や、これから移住したいと考えている方向士の交流会を開催しています。

お問合せ 県庁市町振興課 TEL 077-528-3243 FAX 077-528-4820 e iju@pref.shiga.lg.jp

滋賀に高等専門学校をつくろう！

令和9年開校を目指し、滋賀に実践的な技術者教育を行う高等専門学校の設置に取り組んでいます。

情報技術をベースに、ものづくりやインフラなどの産業分野で活躍できる技術スキルを身につけることで、地域や産業、人と地球を支える人材の育成を目指します。

高等専門学校(高専)とは

高等専門学校は実践的・創造的技術者を養成することを目的とした高等教育機関です。中学卒業後の学生を対象に、5年一貫の実践的技術者教育を行っています。全国に国公私立合わせて57校あり、全体で約6万人の学生が学んでいます。

学校のイメージ

●学校の規模

入学定員120名(3学級)、
学校全体で600名

●目指す学校像

すべての人と地球を支え続ける技術を磨く学校

●学びの方向性

情報技術から
学びの分野を考えてみる

- データサイエンス
- プログラミング
- 価値の創造



「技術」の
エキスパートを
育成！



令和9年春 開校目標

各産業分野に
通じる学び、スキル

- ものづくり分野
- インフラを支える分野
- その他の分野

滋賀・びわ湖という
地域ならではの学び

- 人と自然に寄り添う技術
- 環境へのこだわり
- 進取の気性



高専検討の状況はWEBサイトで
ご覧いただけます。→ [滋賀の高専](#) 検索

滋賀初の高専設置の実現に向けたご意見、ご支援をお待ち
しています。(今後、支援メニューも検討)

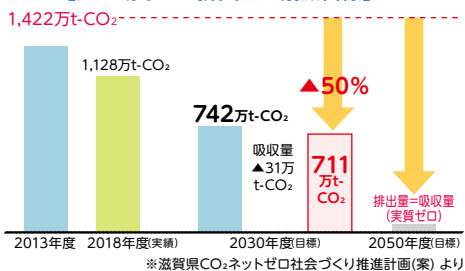
お問合せ 県庁企画調整課 TEL 077-528-3319 FAX 077-528-4830 e kikaku03@pref.shiga.lg.jp

社会への挑戦

CO₂ネットゼロ社会づくりの推進

持続可能な社会を次世代に——。2050年までに県内の二酸化炭素をはじめとした温室効果ガス排出量を実質ゼロ(ネットゼロ)にするため、「しがCO₂ネットゼロムーブメント」の取り組みが進んでいます。CO₂ネットゼロ社会の実現に向け、県では、現在、関連する条例の改正や計画改定にも取り組んでいるところです。

【温室効果ガス排出量の削減目標】



CO₂ネットゼロを考える次世代ワークショップ



ロゴマーク制作プロジェクト



県民、事業者の皆さんと連携した取り組みが広がっています!

現在、賛同者は
218事業所
74,054名
令和4年1月31日現在
(事業所42,914名、個人31,140名)



賛同はコチラから

滋賀レイクスターズ

びわ湖カーボンクレジットを活用し、2021-22シーズンのホームゲーム全30試合をカーボンオフセット開催しています。



約12t-co₂ オフセット!

日本郵便株式会社

「配達用EVバイク」を導入。今年元月式では、EVバイクにステッカーを貼ってCO₂ネットゼロを啓発しました。



車両のEV化

お問合せ 県庁CO₂ネットゼロ推進課 TEL 077-528-3091 FAX 077-528-4808 e cg00@pref.shiga.lg.jp

MLGs (マザーレイクゴールズ)



Mother Lake Goals

変えよう、あなたと私から

2030年の持続可能な社会への目標に向けて、令和3年7月に滋賀独自の「マザーレイクゴールズ」が策定されました。びわ湖に関わる環境問題のワークショップや、学校でのMLGsをテーマにした環境学習などが活発に行われています。

びわ湖のために自分たちができること

2021年9月27日、MLGsをテーマに環境学習を行い、玉園中学校1年生の皆さんが「びわ湖のために自分たちができそうなこと」を考えました。

この学習がきっかけとなり11月19日、学年行事として湖岸清掃活動が実施されました。

MLGsは昨年7月の取り組み開始以来、精力的にワークショップなどの活動が行われています。その多くがNPOや学生からの自主的な持ち込みで企画されています。



清掃活動をする玉園中学校1年生

マザーレイクゴールズ広報大使 就任!

このたび、MLGsの広報大使をさせていただけることを大変嬉しく思いますし、活動を通して学ばせていただける機会に感謝しております。

私は、選手時代に海外を転戦するときに感じていた、世界中から年々雪が少なくなっていくことに対して、何か自分にできることはないか、とずっと考えていました。MLGsの13のゴールに向かって取り組むことによって、選手時代に感じていたものが、少しずつ、より良い地球環境に繋がると信じています。次の世代に美しい琵琶湖を残すため、雪のある冬を残すため「Think Globally, Act Locally」で笑顔で取り組みます。



元フリースタイルスキー・モーグル 日本代表
伊藤 みき さん

お問合せ 県庁琵琶湖保全再生課 TEL 077-528-3460 FAX 077-528-4847 e dk00@pref.shiga.lg.jp

地域循環型社会の構築

地域資源の健全な利用による「環境と経済・社会活動をつなぐ健全な循環」の構築を目指して、取り組みを進めています。

三方よし!! でフードエコ・プロジェクト

近江商人たちが昔から大切にしてきた「三方よし」の精神をもとに食品ロスを減らす県民運動「三方よし!! でフードエコ・プロジェクト」を立ち上げ、各種取り組みを推進しています。



各地で取り組みが広がっています

三方よしフードエコ推奨店

食品ロス削減に取り組む飲食店、食料品小売店などを「三方よしフードエコ推奨店」として登録しています。買い物時の「買い過ぎ」や外食時の「食べ残し」を減らすなど、食品ロスの削減にご協力をお願いします。



三方よしフードエコ推奨店検索サイト

滋賀県食品ロス削減優良取組表彰

食品ロス削減の重要性を広く周知し、一層の実践を促すことを目的に「滋賀県食品ロス削減優良取組表彰」を実施しています。



R3年度表彰式にて

プラスチックごみを削減しよう!

プラスチックごみによって、海中や気候に変化が生じています。プラスチックごみを減らすために、皆さん一人ひとりの心がけと行動が大切です。

環境にやさしい買い物キャンペーン

県内のスーパーや市町などと協働・連携し、マイバッグの持参やマイボトルの利用促進、グリーン購入の実践を呼びかけています。



詰め替え製品を選べばプラごみを減らせるよ!



美しいびわ湖をいつまでも

5月30日、7月1日および12月1日の「環境美化の日」を基準日として県下全域を対象に清掃美化活動を実施しています。



「びわ湖を美しくする運動」

お問合せ 県庁循環社会推進課 TEL 077-528-3477 FAX 077-528-4845 e df00@pref.shiga.lg.jp

「やまの健康」



マザーレイク(琵琶湖)の水源であるファザーフォレスト(滋賀の山)。皆さまにやまの魅力を伝えるキャラクター『やまのおっ山』です。

農山村の価値や魅力、地域資源を活かしたモノやサービスを上手く使って、地域の経済循環や都市を含めた県民との全体の関わりを創るプロジェクトです。県内5つのモデル地域では多様な活動が展開されています。

大津市葛川地域 りんどうで地域を元気に

地域の過疎・高齢化に起因する課題に町を挙げて取り組むなか、何か山間部の気候風土に適し獣害にも強い農産物を、と始めたのがりんどうの栽培。地域に眠っていた田畑を活用し、今年度は約5,000本の出荷に漕ぎつけました。また、地域の若者らが集まりスタートしたのが、杉の枝葉を材料としたアロマオイルの精製。移住者も多く参加しており、地元住民との交流の場ともなっています。



杉枝葉切り作業



アロマオイル



りんどうの栽培

米原市伊吹北部地域 広い空間を活かしたドローン体験

都会になくて田舎にあるのは、障害物のないどこまでも広い自然空間です。

伊吹山の麓、やまの健康事業の拠点「木の駅いぶき」にドローンの飛行練習も体験もできるプライベートキャンプ場をオープンしました。



ドローンの飛行練習



ドローンから撮影したキャンプ場

お問合せ 県庁森林政策課 TEL 077-528-3916 FAX 077-528-4886 e dj0001@pref.shiga.lg.jp

みどりを育てて やまにつながるう!

第72回

全国植樹祭



開催日 令和4年6月5日(日)

場所 鹿深夢の森(甲賀市) 「鹿深夢の森」式典イメージ図

木を植えよう びわ湖も緑のしずくから



西川 貴教さん

【滋賀ふるさと観光大使】

大切な故郷である滋賀県で、47年ぶりに開催される全国植樹祭に「ナビゲーター」として出演させていただくことを大変光栄に思っております。

【プロフィール】大型野外ロックフェスティバル「イナズマロックフェス」を主催。アーティスト活動のほかにもドラマや映画に俳優として出演するなど、多岐にわたり新しい挑戦を続けている。



安蘭 けいさん

【女優】

全国植樹祭の「ナビゲーター」を通じて、「森-川-里-湖」のつながりや、碧く輝くびわ湖と健全で緑豊かな森林を残していけるよう手助けできたら幸いです。

【プロフィール】宝塚歌劇団退団後は女優として舞台を中心に活躍。その演技は高い評価を受け、第38回菊田一夫演劇賞、第28回読売演劇大賞優秀女優賞など、数々の賞に輝く。

カウントダウンボードに注目!

開催まで

残り96日!!

(令和4年3月1日時点)

県産の木材を使用しているW0ー!



全国植樹祭まで、いよいよ残り3か月になりました! 全国植樹祭は昭和25年から始まり、豊かな国土の基盤である森林に対する国民の理解を深めるために開催されています。滋賀県の開催は47年ぶりです。全国植樹祭をきっかけに、みんなで「みどり」を育てたり、「みどり」を楽しみながら、「やま」について考えてみませんか?

みんなでみどりを
育む祭典、開催迫る!

しが出身のおふたりがナビゲーターなのだW0ー!

全国植樹祭しがPR大使
つおーたん



イベント告知

全国植樹祭 プレイイベント @琵琶湖博物館

入場無料

開催日 令和4年3月20日(日)

全国植樹祭開催を記念した特別展示が3月20日(日)から琵琶湖博物館で始まります。3月20日は「家族ふれあいサンデー」として、県内在住の家族は入場無料!

特別展示

森や木のお話を4つのテーマで展示します。森や木のことを知って、家族みんなで森へ遊びに行ってみよう!



クイズラリー 10:00 ~ 16:30

特別展示でのクイズラリーにぜひご参加ください。参加賞として、つおーたんのエコバッグをプレゼント!



木育広場

10:00 ~ 16:30

木のブロックで「ズレンガ遊ぼう!」



お問合せ 第72回全国植樹祭滋賀県実行委員会事務局(滋賀県琵琶湖環境部全国植樹祭推進室)

TEL 077-528-3970 FAX 077-528-4891 e zensyoku@pref.shiga.lg.jp



公式HP



Facebook



Instagram

新型コロナウイルス感染症の影響により、内容の変更や外出自粛のお願い等をしている場合があります。ホームページ等で最新の情報をご確認ください。



「やまの健康」
イメージキャラクター
やまのおっ山



やまの健康

使って遊んで「やま」を健康にしよう みんなでアクション! 「やまの健康」

8つの事業者の「やま」の魅力を活かした新商品開発や啓発活動を、県の補助事業で応援しています。「やま」とつながる商品やイベントを通して「やまの健康」を守ること、県民みんなが健康で幸せに暮らせる未来を目指しましょう。

株式会社浅尾



お家も作れる木のおもちゃ
天然木製ブロック「ズレンガ」



県産材(スギ・ヒノキ)を使用
した白と黒のズレンガ新登場!

子どもたちが夢中で遊ぶ、木のおもちゃを! そんな思いから生まれたズレンガは、思いついたものを大きく具現化でき、子どもから大人まで時間を忘れて遊べる木のおもちゃです。

株式会社コクヨ工業滋賀



これを持って「やま」へ行こう!
「ニブンノイチ野帳」

滋賀の2分の1は森林!
自然あふれる環境を
そのまま商品名に!

表紙が硬くコンパクトなので携帯性に優れ、フィールドワークにも便利な手帳です。見返しには滋賀県の森林の豆知識や、森林や水を感じる滋賀の見どころMAPを記載! この野帳を持ち出して、「やま」を楽しんでみませんか?

しが自然保育認定制度

森で遊んですくすく元気に! 「自然保育」の取り組みがひろがっています!!

森林などでの幼児教育・保育は、子どもの主体性や協調性を育み、幼児期から森林への関心や理解を促し、小学校での「やまのこ」へつなげる体系的でより深い森林環境学習の展開につながります。

県では、一定の基準を満たす団体を認定することで、団体の社会的な認知や信頼性の向上を図る「しが自然保育認定制度」を令和2年度に創設し、現在8団体を認定しています(令和4年2月1日現在)。



森で遊んで、地域とつながる保育



社会福祉法人小羊会 八王子保育園 園長 マーレー寛子さん

八幡山の麓という立地を活かし、周囲の自然の中で遊ぶ時間をたっぷりとしています。昨年6月のしが自然保育認定後、地域の方にも協力していただいて山の整備を進め、自然遊びの講師の指導のもと、子どもたちが力を合わせて森の秘密基地づくりを始めました。

子どもが自ら学んでいく土台づくりとして、自然の中での遊びはとても大切だと考えています。



8団体を認定しました!

認定状況(令和4年2月1日現在)

- ① さくら坂こども園(草津市)
- ② 森のようちえんえくぼ保育園(大津市)
- ③ せた森のようちえん(大津市)
- ④ 大滝たきのみやこども園(多賀町)
- ⑤ 城南保育園(彦根市)
- ⑥ 八王子保育園(近江八幡市)
- ⑦ 藤波こども園(高島市)
- ⑧ 長浜南認定こども園(長浜市)

認定団体を
支援します!!

補助金
対象経費

研修受講費、森林フィールドの安全確保費、活動消耗品費など

森林での活動に必要な経費を助成(補助率1/2)します。

上限事業費

30万円



詳しくは
こちら





アイヌの人々や文化への理解を深めよう

〜知っていますか、滋賀とアイヌの歴史的關係〜

アイヌの人々のことは、滋賀で暮らす私たちには関係がないと思っていませんか？歴史をひも解くと、滋賀とアイヌには知られざる結びつきがあります。アイヌの人々への理解を深め、人権が尊重される社会をつくっていきましょう。



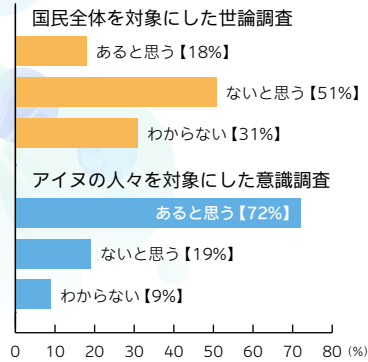
アイヌの歴史と現状

アイヌは、現在の北海道を中心に暮らしてきた日本の先住民族で、固有の言語や伝統儀式・祭事など、独自の豊かな文化をもっています。

しかし、明治以降の日本語の使用を強制されるなどの同化政策により、こうした文化は消失の危機にさらされ、容姿の違いなどによる差別・偏見などの問題も発生しました。

そうした状況を改善するための

アイヌの人々に対する差別や偏見の有無



内閣官房・内閣府「国民のアイヌに対する理解度に関する調査」(平成28年度)より

アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための 施策の推進に関する法律(アイヌ施策推進法)抜粋 【令和元年5月施行】

第4条 何人も、アイヌの人々に対して、アイヌであることを理由として、差別することその他の権利利益を侵害する行為をしてはならない。

第6条 国民は、アイヌの人々が民族としての誇りを持って生活することができ、及びその誇りが尊重される社会の実現に寄与するよう努めるものとする。

様々な対策も行われましたが、十分ではなかったため、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現を目指して、令和元年に『アイヌ施策推進法』が制定されました。

アイヌと滋賀の関わり

自然界のすべての物に魂が宿るとする伝統を受け継いできたアイヌ。人々は豊かな自然を活かした独自の生活様式を大切に暮らしていました。

こうしたアイヌの文化は、滋賀とは無関係にも思えますが、江戸時代には近江商人がアイヌ

(蝦夷地)と盛んに交易を行っていたという歴史的な結びつきもありません。

アイヌの歴史や文化への理解を深め、アイヌの人々の人権を尊重することが、すべての人の人権が尊重される社会の実現につながるのです。



サロルンリムセ(鶴の舞)を踊る若者たち



北海道平取町の二風谷コタンに復元されたチセ(家)



INTERVIEW

近江商人の足跡は蝦夷地にも!? アイヌと近江の意外な接点

滋賀ではあまり知られていませんが、近江商人はアイヌの人々が暮らす蝦夷地にまで進出して経済活動を行っていました。現在の私たちの食卓にもつながる、アイヌとの交易の歴史についてお話しいただきました。

近江商人の蝦夷地進出

江戸時代に現在の北海道南端に置かれた松前藩では、蝦夷地のアイヌとの交易を藩の財政基盤としていました。この交易を請け負う形で本州の商人が蝦夷地へ進出します。早くから組織的に進出したのが近江商人で、彦根の柳川や薩摩、近江八幡の商人は「両浜組」を結成して特権的な立場を築きました。

全国に送られた海産物

やがて商人は蝦夷地の海に着目し、アイヌの人々や北東北からの出稼ぎの和人(日本人)を労働力として、大がかりな漁業を展開しはじめました。

蝦夷地で獲れたニシンは肥料

に加工し、米の主要な産地であった近江にも送られ、その農業生産を支えました。さらに江戸時代には蝦夷地から全国へ海産物が送られ、そこから塩鮭や昆布だしといった食文化が広く形づくられていきました。

また、飛騨出身の商人の横暴に対して、アイヌによる大規模な蜂起が起きたことを記した近江商人の古文書は、「クナシリ・メナシの戦い(1789年)」の貴重な史料となっています。蝦夷地の漁場では、アイヌの人々が過酷な労働を強いられていたのです。

違いを認め合う社会へ

先住民族としてのアイヌの人権は、滋賀に暮らす私たちにとって決して無関係な話で

滋賀大学経済学部附属史料館



附属史料館 外観

近江商人に関する様々な史料を収集・展示しています。詳細はホームページをご覧ください。



はありません。アイヌという独自で固有の歴史と文化を持つ民族が日本に存在することを理解し、違いを認め合い尊重すること。それが、多様性のある共生社会につながっていくと考えています。



滋賀大学経済学部教授
青柳 周一さん

啓発資料貸出のご案内

県では、人権をテーマにした研修会やイベントなどに活用いただけるよう、啓発資料の貸出を行っています。ぜひご利用ください！

■人権啓発資料(紙芝居やクイズなど)

紙芝居やクイズなどで子どもから大人まで一緒に楽しみながら人権について考えることができます。詳細は県ホームページをご覧ください。

貸出
無料!



滋賀県人権啓発
キャラクター
「ジンケンダー」



ジンケンダー 貸出 検索

アイヌの文化や歴史をさらに知りたい方へ(「じんけん通信」のご案内)



毎月1回県ホームページに掲載している「じんけん通信」令和3年7月号・8月号では、アイヌの文化や歴史への理解を深めていただくための特集記事を掲載しています。興味のある方は、ぜひ一度ご覧ください。

ホームページは
こちら





いくつになっても、 住み慣れた地域で 自分らしく暮らし続けるために

～様々な人が支え合う「お互いさま」の地域づくり～

東桜谷は65歳以上の高齢化率が日野町の中で最も高い44・9%の地域です。平成29年、町の社会福祉協議会から「地域づくり・まちづくり」モデル事業のお話をいただいたのですが、初めは何をするかなかなか決められなくて、まず地域のみんで話し合いを重ねました。

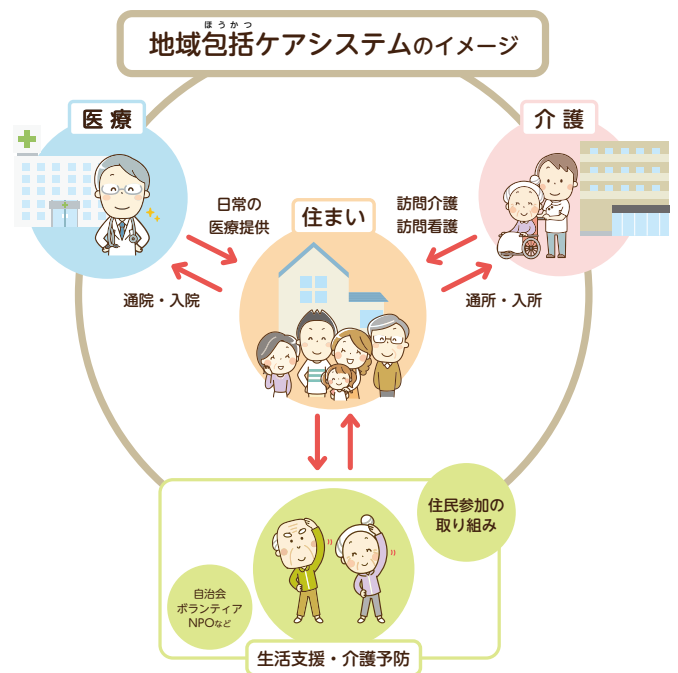
できることから
始めよう

地域での暮らしを「支え愛」
日野町「東桜谷おしゃべり会」



「東桜谷おしゃべり会」
(左から)外山 章さん、麻原 喜代次さん、山田 幸枝さん

高齢化が全国的に進むなか、滋賀県の高齢化率も26.7% (65歳以上:令和4年1月1日現在)に達しています。いくつになっても住み慣れた地域で暮らせるように、県内各地で広がっている「お互いさま」の活動をご紹介します。



地域包括ケアシステムの実現に向けて

医療福祉関係者・住民・行政が、県内の医療福祉・在宅看取りについてそれぞれの立場で考え、実践していく「自覚者の自発的な集まり」として活動しています。



年1回
「滋賀の医療福祉を守り育てる」
県民フォーラム



月1回
ワーキンググループ会議
(平成30年撮影)

よりどり着取りの
滋賀を目指して



医療福祉・在宅看取りの地域創造会議

TEL 077-528-3529 (滋賀県庁医療福祉推進課内)
e info@chiikisouzoukaigi-shiga.jp

HPIはこちら▶





進められる 体制づくり

団塊の世代が75歳以上となる2025年に備えて、国では『地域包括ケアシステム』の体制づくりが進められています。

その人の住まいを中心とした地域の中で、医療や介護、介護予防・生活支援などが必要に応じて提供され、本人が望む暮らしを住み慣れた地域で最期まで続けられる社会の実現を目指しています。

広がる 「お互いさま」の輪

県では、市町や医師会、社会福祉協議会、介護事業者団体などと連携して、それぞれの地域での『地域包括ケアシステム』実現のための様々な施策を行っています。

また、県内各地では、『困ったときはお互いさま』の気持ちで暮らしを支え合う自主的な活動が広がっており、市町や県ではそうした活動をサポートしています。

高齢者のちょっとした困り事の支援や、介護予防のための『通いの場』づくりなど、身近な地域でできることを、あなたも探してみませんか。



高齢者の移動支援「おたすけカゴヤ」(令和元年7月撮影)

活動から 見えてきた課題

県内の先進地の取り組みを見学して大きな刺激を受け、自分たちでできることから始めようと決意。18名のボランティアで約2年の準備期間をかけて「東桜谷おしゃべり会」を立ち上げ、「移動支援」と「食事会」をスタートさせました。

活動の輪を 広げていきたい

食事会「おしゃべり食堂」は地域の人々が顔を合わせておしゃべりを楽しむ場として始めました。これからは高齢者の社会参加や認知症予防を意識しながら、いろいろな世代の人にも参加してもらえよう発信していきたいと考えています。



地域の食事会「おしゃべり食堂」(令和元年5月撮影)

「三方よし」で支える 地域の暮らし



滋賀県
医療福祉推進アドバイザー
(医療経済研究機構 協力研究員)
松本 佳子 さん

活動でみんなが笑顔に

地域で「支えあう」活動は、支える人がやりがいを感じられないと続きません。支えられる人も支える人も喜びを得られる活動は、地域みんなのためになる。滋賀の「三方よし」「お互いさま」の精神は、これからのまちづくりにとても大切なものだと感じています。

求められる「地域の力」

住み慣れた地域で最期までその人らしく暮らすことを目指す地域包括ケアシステムでは、医療・介護とともに「地域の力」が不可欠です。自分も何かできないかと思われたら、市町や社会福祉協議会に相談してみてください。小さなことでも結構です。その小さな気づきが、誰もが自分らしく、尊厳を持って暮らせる社会につながります。



いまむらしょうご
今村 翔吾さん
第166回 直木賞受賞

この度、第166回直木三十五賞を受賞することができました。私は京都府の出身ですが、縁があって滋賀県に住み始めたのは2009年の秋頃でした。そこからすでに13年の月日が流れています。ようやく滋賀の作家と名乗ってもよいかと思います。



直木賞を受賞した作品『塞王の楯』は、近江国、今の滋賀県が誇る職人集団である穴太衆が主人公で、同じく滋賀県の職人集団である国友衆がライバルとして登場します。そしてこの両者がぶつかるのも滋賀県の大津城。全てが滋賀尽くしの小説となっております。他にも多くの滋賀県の地名が登場し、この地にお住まいの方ならば、より読みやすいかもしれません。だからこそぜひ、滋賀の方にお読みいただければ幸いです。

今後もこの近江の国で筆を執り、よりよい作品を生み出していくつもりです。応援いただければこの上ない幸せです。

75歳以上の免許更新手続きが
変わります! (R4.5.13 ~)

75歳以上で運転免許(普通自動車対応免許)を保有し、信号無視などの一定の違反歴のある方は、免許更新時に運転技能検査を受検しなければなりません。

問 滋賀県警察本部運転免許課
TEL 077-585-1255



滋賀の食材で簡単クッキング!
うおーたんの
* 滋賀ごと
クッキング

動画はこちらから! //

第6回 滋賀の野菜をたくさん食べよう!
レシピ: 野菜たっぷり玄米お焼きと
白菜のたたみ漬け

滋賀まるごとクッキング 🔍 検索



マイナンバーカードで **第2弾** **マイナポイント** ポイント付与の本格申込は
6月頃から始まります。

**マイナンバーカード申請の
手続きは今のうちに!**

マイナンバー
総合フリーダイヤル **0120-95-0178**
[平日:9時30分~20時00分 土日祝:9時30分~17時30分]

「合理的配慮」を知っていますか?

「合理的配慮の提供」とは、障害のある人から何らかの配慮を求める意思の表明があった場合において、**負担が重くない範囲で配慮を行うこと**をいいます。互いにアイデアを出し合い、その場に応じて**できる対応を一緒に考えること**が大切です。

具体例



窓口で聴覚障害のある人からの申出に応じて、手話や筆談で対応する。



狙われる!? 18歳・19歳



令和4年4月1日から成年年齢が18歳になります。成年になると、親の同意がなくても一人で契約ができるようになりますが、未成年を理由とした契約の取消しができなくなるため、成年になりたての18歳・19歳の若者が悪質業者に狙われる可能性があります。「契約は慎重に行う」「もうけ話をうのみにしない」「必要なければ、きっぱり断る」ことが大切です。

成年になるタイミング

生年月日	成年になる日
平成14年4月2日～ 平成16年4月1日生まれ	令和4年4月1日
平成16年4月2日生まれ以降	18歳の誕生日

●一人できるようになること

- クレジットカードをつくる
- ローンを組む
- スマートフォンの契約
- など



●変わらないこと(20歳のまま維持)

- 飲酒
- 喫煙
- 競輪、競馬、競艇
- など



成年になりたての若者は悪質業者に狙われます!

動画投稿サイトの広告を見て
ダイエットサプリを
お試し価格で購入

実は定期購入が
条件だった!?



※定期購入とは、一定期間のサイクルで継続的に自動購入すること

「もうかる」と誘われ
学生ローンを組んで
投資を始めたが...

全く
もうからない!?



消費者トラブルでお困りであれば
お気軽にご相談ください!

<消費者ホットライン>

局番なし ☎ 188

お近くの消費生活相談窓口につながります。

<滋賀県消費生活センター>

☎ 0749-23-0999

〒522-0071 彦根市元町4-1
(月～土 9時15分から16時まで)

※インターネット相談も受け付けています。



滋賀県消費生活センター
成年年齢引下げ特設HP



政府広報オンライン
「成年年齢引下げ」HP

ほっと サロン



「滋賀プラスワン」
3・4月号へのご意見・ご感想や県政についてのご意見などをお寄せいただいた方の中から抽選でプレゼントします!

① 近江牛(焼肉用) (500g)

3名様

近江牛の焼肉用のお肉です。やわらかく香り豊かなお肉を、ご家庭で楽しみましょう!

※写真はイメージです。



② 木製おもちゃ

3名様

動かして遊べる、動物の木製のおもちゃです。動かしたときのカラクリが楽しいです♪どのおもちゃが届くかお楽しみに!

※写真はイメージです。



③ びわこ文具 5点セット

5名様

P9でご紹介した「ニブノイチ野帳」をはじめ、びわ湖をモチーフにしたかわいらしい文具のセットです。

※写真はイメージです。



④ チーズ詰め合わせ

5名様

様々なチーズが楽しめるギフトセットです。それぞれ風味や香りをお楽しみください!

※写真はイメージです。



⑤ 甲賀の粉末茶 3本セット

5名様

お茶の有効成分を丸ごと摂取できるお茶です。抹茶、ほうじ茶、紅茶の3つのお茶が楽しめます。

※写真はイメージです。



⑥ うおーたん リトルハーブ

10名様

ミニサイズの缶でハーブを育てる栽培キットです。植物の栽培を手軽に楽しめるアイテムです。

※写真はイメージです。



応募方法

520-8577
3・4月号
ほっとサロン係

・3・4月号のご感想
・県政についての意見
・希望のプレゼント番号(1つ)
・郵便番号・住所
・氏名・年齢
・電話番号
・匿名希望の有無

はがき、メール(plusone@pref.shiga.lg.jp)の場合は左記の内容を記入してください。県ホームページ(https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/koho/kohoshi/300231.html)からも応募できます。なお、応募はお一人様1回とさせていただきます。(複数の応募は無効)

個人情報の取扱いについては「滋賀県個人情報保護条例」に基づき、適正に行います。なお、プレゼント発送のために個人情報を商品取扱業者に提供しますのであらかじめご了承ください。1・2月号のプレゼントに1,065通の応募をいただきました。たくさんのご意見、ご応募をいただきありがとうございます。当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

しめきりは
3月22日(火)消印有効



お寄せいただいたご感想を「滋賀プラスワン」誌上などに紹介させていただきます。ご了承ください。

県広報誌「滋賀プラスワン」は年6回(奇数月)の発行で、3・4月号は48万4000部作成し、県内に新聞折込配布しています。県のホームページでもご覧いただけます。郵送をご希望の方点字版・音声版(CD版)の申し込みは県庁広報課までご連絡ください。次回の発行は5月15日の予定です。



滋賀プラスワンは左記施設に配置しています
県内の市町役場、図書館、県立施設などの公共施設、郵便局、銀行、美容院、理容店、大学、JR琵琶湖線や近江鉄道などの主要駅、平和堂、イオン、ファミリーマート、セブンイレブン、ローソンの部など

健康しがへの挑戦
～変わる滋賀 続く幸せ～

滋賀 プラスワン 1

Vol.196
令和4年(2022年)

3・4 月号

令和4年3月1日発行

滋賀県広報課

〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号

TEL 077(528)3041

FAX 077(528)4803

Eメール koho@pref.shiga.lg.jp

県ホームページ

<https://www.pref.shiga.lg.jp/>



この印刷物は、環境に配慮した再生紙、植物油インキを使用しています。